

**製品名: ORC5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15499**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ORC5 ORC5L
別名	
遺伝子 ID	5001.0
SwissProt ID	O43913
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

**背景**

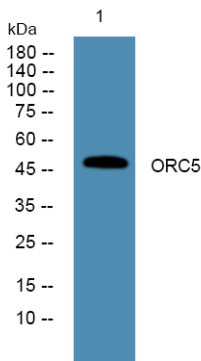
複製起点認識複合体 (ORC) は、真核細胞における DNA 複製の開始に必須の、高度に保存された6つのサブユニットからなるタンパク質複合体です。酵母を用いた研究では、ORC が複製起点に特異的に結合し、Cdc6 や Mcm タンパク質などの追加の開始因子の組み

立てのプラットフォームとして機能することが実証されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ORC複合体のサブユニットです。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年10月]機能:複製起点に結合する複製起点認識複合体 (ORC) の構成要素です。染色体複製と接合型転写サイレンシングの両方に役割を果たします。ATP 依存的に複製起点のARSコンセンサス配列 (ACS) に結合します。類似性: ORC5ファミリーに属します。サブユニット: ORCは6つのサブユニットで構成されています。

## 研究分野

細胞周期 G1S;細胞周期 G2M\_DNA;

## 画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、ORC5 ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩